

あきた文学資料館

新収蔵資料展 I

秋田の現代俳句 | 新興俳句から戦後俳句へ

令和五年三月十五日(水) ~ 四月三十日(日)

新興俳句は、昭和六年、『馬酔木』の水原秋桜子が『ホトトギス』を離脱したことにはじまる。やがて、『天の川』の吉岡禪寺洞、『京大俳句』の西東三鬼、『旗艦』の日野草城などが大きなうねりをつくるが、戦時下の重庄により逼塞を余儀なくされた。戦後、活動を再開した俳人たちは、失われたときを取り戻そうとするかのようにな戦後俳句の時代を築いてゆく。こうした一連の動きに、秋田の若い俳人たちは果敢に呼応するのであった。

あきた文学資料館

〒010-0001 秋田市中通六丁目6-10

☎ 018-884-7760

開館時間：10時～16時

休館日：毎週月曜 入館・入場無料

